

● オオムラサキ観察会 7月2日・13人の参加がありました。 前日まではかなり降雨が続きましたが朝からすっかり晴れ上がり、絶好の観察日和です。桜谷先生は待ち合わせ時間前に到着され、大村さんから依頼されていた金田さんもお迎えにおいでになりました。先生の送りは金田さんに頼み、私は参加者の集合地としていた普賢寺小学校に回りました。10時5分まで待ちましたが、天候の関係もあってか、どなたもお越しになりませんでした。里山農園にはいつもの顔ぶれの集合があって、さっそく深田理事長の挨拶、桜谷先生からオオムラサキについての解説と農園と観察台の状況の説明をいただき、組み立てたフィールドスコープを持って、観察場所へと移動しました。空はきれいに晴れ渡り美しい青色が気持ちよく広がって、まぶしいくらいでした。2時間ほど飛翔を待ちましたが、それらしい姿は確認できませんでした。今年はオオムラサキの孵化には少し早いのではないかと判断して午前中の観察会を終わりました。昼食後は天王の朱智神社に移動して観察をすることになりました。長い急な石段を登り切ると下から吹き上げてくる風が気持ちよかったです。石段に腰を掛け大きな木立の空間を眺めているとアオスジアゲハ、インガケチョウ、チョウトンボなどが次々と飛翔します。ここは風の通り道であり生き物たちの通路になっているのでしょうか。カミキリムシも見つかりました。木立からはニイニイゼミの鳴き声が響きます。三国境を目指す親子づれ3人と行き交いました。体力も回復したので、農園に戻ってオオムラサキの飛翔確認を狙いましたが、出会うことはできませんでした。そして帰路につき宮ノ口のハンノキ林に立ち寄りミドリシジミを確認しました。期待をした今年最後のオオムラサキ観察会でしたが、少し早かったようです。

● 10号地の切り下げられた畦道が復元 7月2日 里山農園の10号地の畦が削り取られてしまったので、現況回復のために土嚢80袋をもって積上げました。約10m程の復旧作業です。朝から猛烈な暑さがあって、暑さに負けない気力が必要ですが、重たい土嚢運びですので体力が持続できないので、体力の消耗を控えながらゆっくり作業を進めるのですが、うまく調整できず、直ぐグッタリです。やすみ休みしながら昼前にやっと土嚢を並べ終えられました。非常に気になっていたところを回復出来ました。

● ササユリ問題無事に決着がつく 昨年の春から問題になっていた外部から購入したササユリの球根の植付けと開花による交雑防止について、1年間にわたって粘り強く話合ってきましたが、20年の歴史上初めての臨時理事会の開催で処分決議まで行わなければならない事態に陥りました。1年間余にわたる対応を行ってきましたが、この都度無事解決が見いだされ、交雑を防止し、秋にはササユリの球根を引き抜くことになりました。この間いろいろご心配をおかけしてきました。誠に申し訳ないと思います。何事も話し合いを積み重ねて解決を図ってきた伝統に大きな禍根を残す事件となってしまいました。第2回臨時理事会開会前に当事者からの退会の申し出によって、最悪の処分は回避されました。これにて一件落着となりました。

● 京都府下の環境保全活動団体の8団体が集う 7月1日 京都府自然環境保全課の呼びかけに応えて、やましろ里山の会、青葉山レンジャー隊、アユモドキ 人と自然のネットワーク、雲ヶ畑・足谷 人と自然の会、ミヤマ産官学公連携協議会・内久保環境・史跡保存会、乙訓の自然を守る会、鹿背山倶楽部、NPO 自然観察指導員京都連絡会の団体が集まって情報交換を行い、交流を深めました。次回は8月25日と決めて40団体の集合を目指すことになりました。

● 県外研修会のプラン検討が進む 実施日 8月9・10日と決まる 里山農園の一層の発展充実を目指すには先進地の視察や交流から学ぶことが大切です。20周年を迎え農園活動の発展方向を見つけ出す時期を迎えています。よいヒントを桜谷先生からいただきました。愛知県美浜町の白

土公園のお話でした。これまで洗剤として利用されて来た磨砂(ミガキズナ：今でいうクレンザー)が里山の奥から採掘されていた採掘場所を町の遺跡として公園化されている美浜町を紹介いただきました。里山農園も同様に磨き砂の生産地が存在しています。見学視察に訪れることにしました。8月9・10日に一泊二日で研修会を行います。興味のある方はご参加ください。10日は水曜日で事務局会議の日ですが、現地で事務局会議を開始します。訪問先は木曽川展望台 海上の森公園 トヨタ自動車工場 白土公園 名古屋市みんなの森などを予定しています。宿泊は愛知県美浜町の民宿(宿泊費1万円程度)です。案内指導は桜谷保之先生にお願いしています。次週に詳しい要綱を掲載します。

● 河川レンジャー養成講座 第2日目 山城大橋下で実施 2016年度河川レンジャーの養成講座二日目の講習会が午前9時から17時まで山城大橋右岸(東側)で予定されています。木津川で水生生物の調査や水辺での指導方法、水の流れの特徴や危険、そして救助方法の実践講習会です。一度ご覧になっていただければ河川レンジャーへの理解を深めていただくいい機会となります。地元中の地元ですので、ぜひともお越しください。これまでの10年間は開橋で行ってきましたが、今年は山城大橋で行われます。

● 親子で遊ぼう学ぼう魚とり チラシの配布が始まる 7月17日(日) いよいよ真夏を予感させる気温の上昇が続いています。子どもたちにとって期待の夏の到来です。日ごろ親子で一緒に楽しむ時間が作れないお父さん、お母さんにも、里山の会や河川レンジャーが準備した親子で遊ぼう学ぼう魚とりへの参加を呼び掛けています。まだまだ気候が不順で空模様が心配ですが、ぜひご参加ください。各小学校には参加呼びかけのチラシを間もなく届きます。先着順と世話係優先、そして地域制優先としています。また一応の目安でもあります。考慮の上申し込みを往復はがきでお願いします。引き続き7月23日、8月7日、8月21日を予定しています。

● 里山農園 朝収穫のお手伝いさんを募集 9月中頃まで 月水金の三日間 いま夏野菜の収穫時期となって、ナスビやキュウリがたくさん実っています。里山農園では、月・水・金と二日ごとに収穫を行っています。二日ごとの収穫を行い100円コーナーで地域の人々に超新鮮な野菜を提供しています。売上金は次の野菜の種や肥料、農機具の購入資金等再生産の準備金とさせていただきます。会員の皆さんに収穫のお手伝いを呼び掛け、お願いしています。午前7時から8時までの1時間収穫に御協力いただけないでしょうか。0774-64-4183まで電話ください。あるいは農園部の大村さん森島さんにご連絡を取ってください。ご協力をお願いします。

● 7月18日(月)夜の生き物調べ 17時集合 里山農園 里山農園教育棟で昨年に引き続き「夜の生き物調べ」を行います。近頃の生活では夜の生き物について学習する場所や機会がほとんど見られません。昨年に教育棟が完成しましたので、天候に左右されることなく調査が可能になりました。もちろん雨天では少しハンディもありますが、大屋根の下で安心して楽しく調べられます。小学校の先生や大学の先生が指導いただきます。ぜひとも多くの皆さんのお越しをお待ちしています。ゲンジやクワガタも飛んでくるかもしれませんね。期待しています。

● 竹蛇籠の調査から 先日竹蛇籠は全部水中に没するほどの増水が見られました。少し水量が減少したので覗いてみますと川を中心部分にこれまでなかった浅瀬が発生しているように見えました。もう少し水量が少なくなるとその実態が明らかになると思われます。これまで竹蛇籠の上流側と下流側に反転流が発生し、砂が堆積しているとか、止水を好む生物が生息し始めたなどの新しい発見が続きました。今度は流れの中央部分に浅瀬らしきものが出現してきたように見えます。小さな蛇籠の設置でこれだけ水流に大きな影響がみられるとは予想しなかった出来事です。写真で見ると左岸1号蛇籠の先頭部分が冠水していますので、通常の水位(40cm位)に低下するとさらに明確になると思われます。